

科目名	集 中 講 義 II Closely-packed lecture II			担当教員	原 卓雄 (窓口教員 由良)		
学 年	5	学 期	集中	科目番号	04449	単位数	2
分 野	専門	授業形式	講義・見学	履修条件	選択		
学習目標	香川県及び周辺地域の産業の現状等を理解するうえで、「モノづくり」の魅力、開発(改善・改良)の重要性などについて講義を受けるとともに、特長技術を有する企業(世界一・日本一)の見学で現場の知識を習得することで、次のステップ(進学・就職など)における取組みに役立てる。						
進め方	地域産業の現状を把握・理解するうえで、実際に見る(企業見学)、聞く(講義)ことは重要であると考える。 そこで、非常勤講師から、香川県の産業全般について講義を受けるとともに、生産現場を直接見学することで、特長ある技術・製品、開発のポイント・考え方、企業の社会貢献や、地場産業の歴史などについて幅広い知識(社会人としての知識)習得を目的とする。						
学習内容	学習項目(時間数)			合格判定水準			
	0. 全体的なガイダンス(1) 1. 「(株)香川県」の視点からの地域産業の現状 ・産業集積・地場産業・特長企業・支援機関などの状況・取組みなどを紹介する。(○) 2. 特長ある技術を有する企業の具体事例 特長ある企業(日本一など)、地場産業(手袋・家具・漆器)・支援機関などの見学 ・(株)香西鉄工所(クレーン等大型構造物) ・(株)コート(道路標識等のトップ企業) ・(株)キャスコ(ゴルフクラブ・ボールに特化) ・(株)ユーミック(メッキに特化した企業) ・(株)レガン(イチローのバティング用グローブ等) ・葵機工(株)(エアバッグ部品生産日本一) ・香川県産業技術センター(支援機関) ・(株)森繁(家具・漆器等のトップメーカー) ・(株)谷口金属熱処理工業所(重要部材・部品等熱処理のトップ企業) など			・講師から出された課題(レポート)を自ら作成し、提出することができる。 ・講義内容から「何を感じたか」「何を考えるか」を整理することが重要 ・例えば、自分だったら「このような取組み」をなど、自分自身の考えを明確にアピールすることが重要			
評価方法	・合格判定水準に達しているか、家庭学習が行われたかどうかを、レポートより判断する。レポート(100%)。 ・見て・聞いて自身がどのように考えるかがポイントであり、正解はない。したがって集中講座から習得したものについての整理能力・文章作成能力・自身ではどのように考えるかなどが評価基準となる。 ・「何を感じたか」「何を考えるか」の整理状況から判断する。						
学習・教育目標との関係	○A(1) 日本と世界の暮しや文化について、身近な事例を通じて説明することができる。 ・企業の海外進出における苦労話・文化の違いなどから、知識習得 ◎A(2) 現代社会を支える技術の実態と技術者の役割を認識し、事例を通じてそれを説明することができる。 ◎A(3) 技術が社会や自然に及ぼす影響と技術者の責任を認識し、事故や不正の事例を通じてそれを説明することができる。						
関連科目							
教 材	「香川県の現状」などの資料						
備 考	学修単位						